



連携登録医に向けた情報発信(メールアドレス登録のお願い)

当院よりタイムリーな情報をメールにて、連携登録医の皆様へのご案内(「地域医療連携だより」「ニュースレター」等)を発信しています。ご登録いただいたメールアドレスは、以下の用途にて使用させていただきます。趣旨をご理解いただき、メールアドレスの登録にご協力いただける方は、お手数ではございますが右記のQRコードよりお願いします。

- ・地域医療連携だより、ニュースレター等の配信
・勉強会、講演会、イベント等のご案内
・アンケート、調査等のご案内



※メール配信のご登録後も必要時には郵送でのご案内をさせていただきますのでご了承ください。

予約システムのDXに向けて

地域医療機関から、または患者さんからWEB予約を用いて対応できるよう新たな予約システムを検討しています。詳細については、今後お知らせしていきます。

また、現在使用しているFAX予約申込書については、申込書の保険情報記入欄を削除、紹介患者さんの病状に合わせた予約が取れるよう症状の記入欄(至急の場合のみ)を設け、紹介元医療機関の先生方がスムーズに予約できるよう変更しました。

申込書は当院ホームページからダウンロード、または外来予約センターまでお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

【診療予約】(診療予約申込書)

【検査予約】(MRI・CT/RI・PET/CT 検査予約申書)

Form 1: Introduction of patient treatment reservation application form. Includes fields for patient name, address, and hospital information. It also lists various medical departments like Internal Medicine, Surgery, and Pediatrics.

Form 4: MRI/CT examination reservation application form. Includes fields for patient name, address, and specific examination details like MRI or CT.

Form 5: RI/PET/CT examination reservation application form. Includes fields for patient name, address, and specific examination details like RI or PET.

院長退任にあたって：地域医療連携の絆をともにつなぐ

藤沢市民病院 院長 西川 正憲



連携登録医の皆さまには、日頃より患者さんをご紹介いただくとともに、藤沢市民病院の運営および地域医療連携に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

西川が藤沢市民病院の第9代院長に就任したのは2023年4月のことでした。同年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、地域医療は新たな局面を迎えました。社会生活は落ち着きを取り戻しつつありますが、感染症流行の変化や急速な高齢化などにより、医療現場にはこれまで以上に柔軟で連続性のある対応が求められています。こうした状況の中で改めて感じますのは、当院が真の意味で「地域に根ざした急性期病院」として、地域の先生方や医療・介護関係者の皆様と共に歩みながら、より質の高い医療を提供することができているということです。

高齢の患者さんや、複数の疾患、生活・社会的課題を併せ持つ方が増える中、急性期病院、がん診療連携拠点病院が担うべき役割と、地域の医療機関が担う役割を明確にし、切れ目なくつないでいくことが重要になっています。当院では患者総合支援センターを中心に、入退院支援、相談支援、転院調整、がん相談支援などを強化し、病診・病病・介護との連携を日常の診療の中でより実践的なものにしてきました。2021年に導入した転院・退院クラウド管理システム(つながるネット)は、当初の藤沢市内の運用から、2024年には茅ヶ崎市・寒川町を含む「2市1町」へと活用範囲を拡大いたしました。これにより、転院調整の迅速化だけでなく、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活を継続できる「後方連携のシームレス化」が前進しました。

高度化・複雑化する医療ニーズに応えるため、各診療科が連携するとともに、チーム医療の推進にも注力してまいりました。さまざまな場面で、医師、看護師、薬剤師、療法士、栄養士、ソーシャルワーカー、事務職などが一体となって、患者さんに寄り添い支える体制を構築してきました。がん患者さんに対するフレイル・サルコペニア対策として「運動・栄養講座」の開催やアピアランスケアの情報提供などを継続して実施しています。また、高齢化社会において避けては通れない「骨折」への対応では、整形外科を中心に歯科口腔外科や薬剤部などが連携する「骨折リエゾンサービス(FLS)」を積極的に展開しました。骨折をきっかけにADL(日常生活動作)を低下させない、二次性骨折を防ぐというこの取り組みは、単なる治療を越えた「生活を支える医療」の象徴です。歯科口腔外科による「健口(けんこう)」維持の啓発も含め、多職種が連携してフレイル・サルコペニア予防に取り組んでいることは、当院のチーム医療が新たな段階に達しつつある証です。

市民の皆様への情報発信を目的とした広報紙「ふれあい」では、専門的な医療情報だけでなく、栄養室による健康レシピの紹介など、親しみやすい情報提供にも努めてきました。病院が「病気になったら行く場所」から「地域の健康を共に守るパートナー」として認識されるよう、全職員が一丸となって取り組み、update, version upしてゆきます。

『よりよい医療を提供する病院、市民から選ばれる病院』を目指し、職員一同と共に走り続けてまいりました。救急医療、がん診療、周産期医療、小児医療など、当院が果たすべき役割はますます高度化・複雑化していますが、地域全体で患者さんを支えるという「顔の見える連携」こそが、藤沢・湘南東部地域の医療の強みであると確信しております。後任の体制下においても、当院が引き続き地域医療の中核として、皆様に安心・安全な医療を提供し続けることを切に願い、私の退任の挨拶とさせていただきます。

引き続きのご支援とご指導を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

連携登録医総会を開催しました

2025年11月5日に2025年度連携登録医総会(医科)を開催しました。当日は38施設57名の方々にご出席いただきました。今回は各科ポスター形式で診療科の特色や対象疾患などを掲示し、院内47名の医師が自科のポスター前で地域の先生方と情報交換が出来る場を設けました。会場では、連携登録医の先生方と当院医師との活発な意見交換の様子がみられ、顔の見える関係づくりが築けたことと思います。今後とも連携登録医の先生方と更なる連携強化に努めてまいります。

2025年度 連携登録医(医科)総会

開催日時: 2025年11月5日(水) 19:00 ~ 20:30

内容: 司会進行 副院長 岩瀬 滋

1. 開会の辞 院長 西川 正憲

2. 講演

「循環器内科の近況報告」 循環器内科 塚原 健吾

「当院呼吸器内科の『売り』~気管支鏡検査について~」 呼吸器内科 杉本 栄康

「整形外科の診療の現状」 整形外科 松尾 光祐

「当院内視鏡センターの実践と挑戦」 消化器内科 福地 剛英

3. 情報交換会

4. 閉会の辞 副院長 山岸 茂

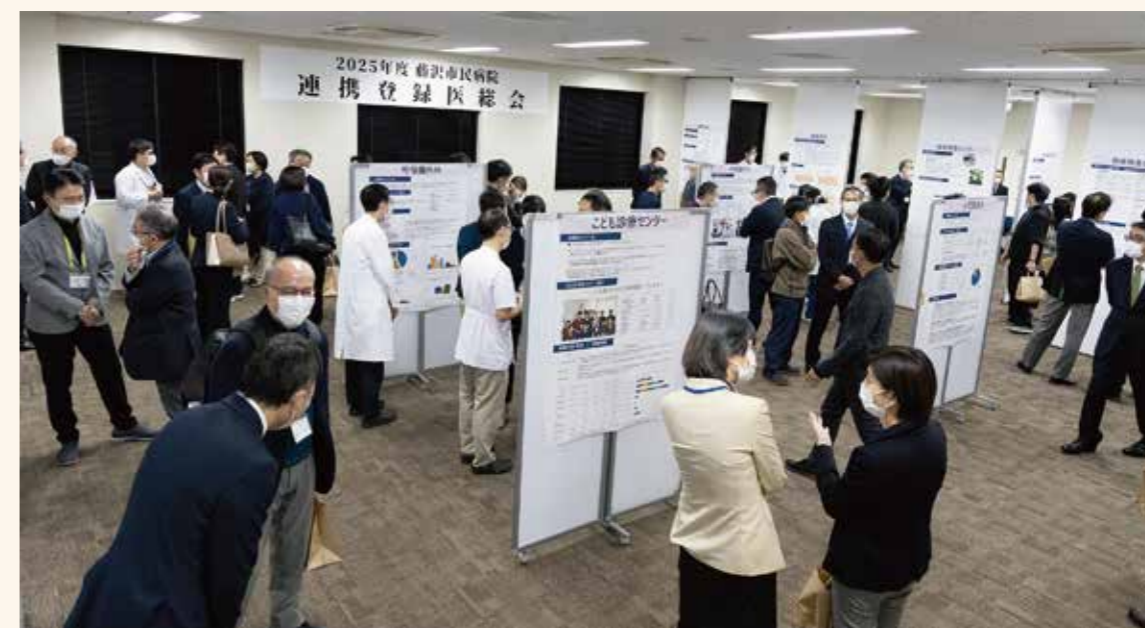
【講演】



【ポスター掲示 (30診療科)】

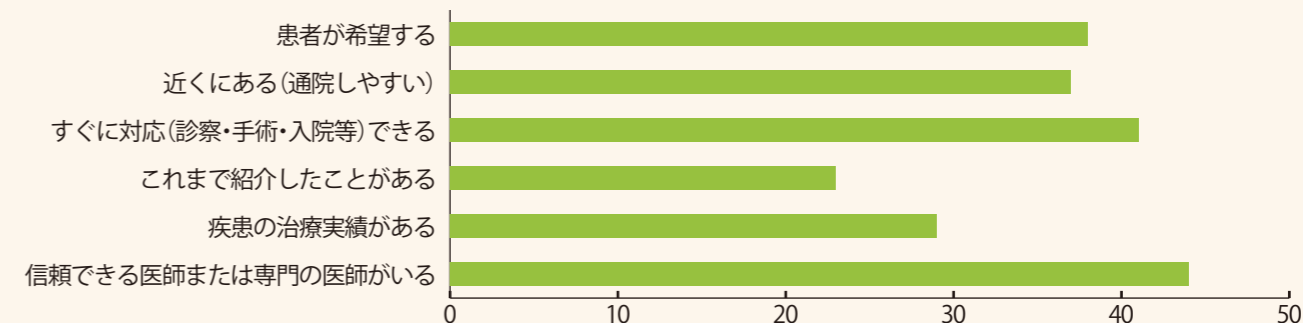


【情報交換会(各診療科医師と対面交流)】

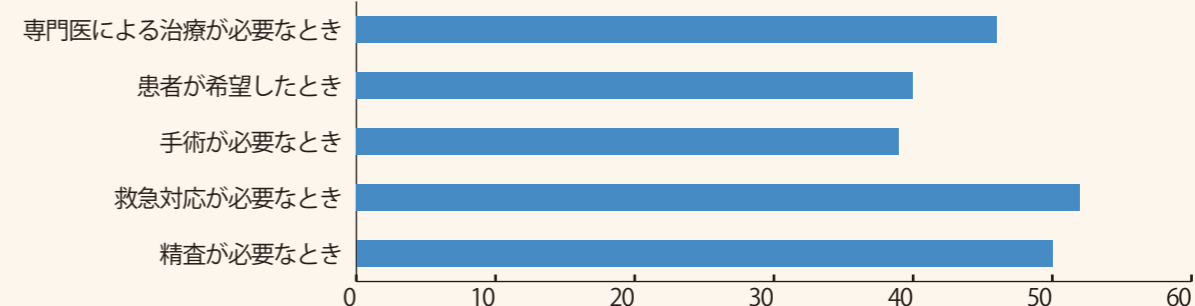


【医療連携に関するアンケート(報告)】

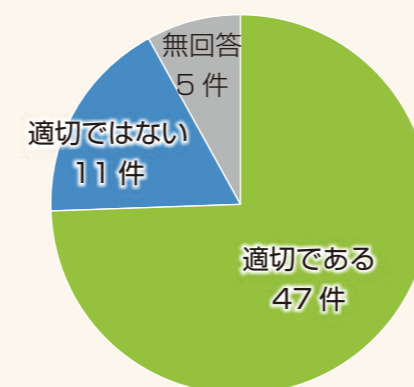
■患者さんを紹介する際に重視していることは何ですか？(複数回答)



■どのようなときに当院に紹介しますか？(複数回答)



■当院からの返書(診療報告書/診療情報提供書)の時期は適切ですか。



適切ではない理由として、返信が遅いというご意見をいただきました。当院では、紹介いただいた患者さんの返書状況を画面表示してタイムリーに作成できる環境作りや対象患者を担当医へ直接通知する他、紹介日からの返書状況を毎月診療部に報告する取り組みも行っており、なるべく遅れないよう働きかけています。

検査予定や患者さんの状態によっては、報告までにお時間をいただくケースがありますが、できるだけ速やかに対応できるよう努めてまいります。